

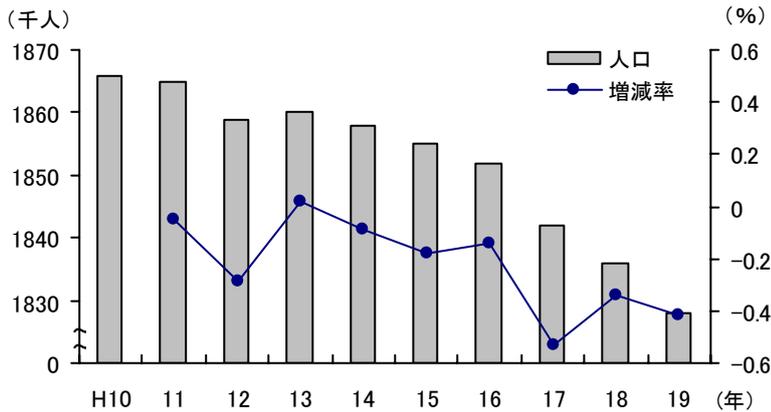
結果の要約

総人口	1,828,288	人	前年比	7,621	人減少
男	859,568	人	前年比	4,058	人減少
女	968,720	人	前年比	3,563	人減少
世帯数	681,377	世帯	前年比	5,822	世帯増加

1 熊本県の人口 — 転出超過により減少

平成19年10月1日現在の人口は、1,828,288人で、主に転出超過により、前年に比べ、7,621人減少した（▲0.42%）。過去10年間をみると、近年は減少傾向にある。

(図1)人口及び人口増減率の推移(平成10年～平成19年)



(表1)人口及び人口増減率の推移(平成10年～平成19年)

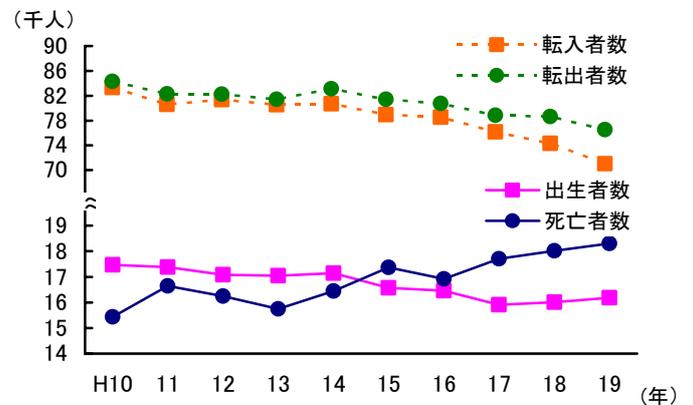
年次	人口(人)	増減率(%)
H 10	1,865,773	
11	1,864,808	▲ 0.05
12	1,859,344	▲ 0.29
13	1,859,752	0.02
14	1,858,070	▲ 0.09
15	1,854,792	▲ 0.18
16	1,852,135	▲ 0.14
17	1,842,233	▲ 0.53
18	1,835,909	▲ 0.34
19	1,828,288	▲ 0.42

2 人口動態 — 前年に引き続き出生者数が増加

平成18年10月～平成19年9月の自然動態は▲2,122人であった。内訳は、出生者16,181人、死亡者18,303人で、死亡者数が出生者数を上回ったが、出生数は前年に引き続き増加した（前年に比べ171人増）。

社会動態は転入者71,031人、転出者76,530人で、▲5,499人の転出超過である。過去10年間をみても、転出超過が続いている。

(図2)出生、死亡、転入、転出者数の推移(平成10年～19年)



3 市町村別人口 — 熊本市近郊で増加

最も多いのは熊本市の670,179人（県全体に占める割合36.7%）で、次いで八代市134,680人（同7.4%）、天草市93,255人（同5.1%）である。

人口増減数は、前年に比べ増加したのは菊陽町（1,103人増）、合志市（662人増）、大津町（328人増）など9市町村で、減少したのは天草市（1,740人減）、八代市（1,095人減）、上天草市（634人減）など39市町村である。

人口増減率は、最も増加率が高いのは菊陽町（3.3%）、次いで西原村（1.7%）、嘉島町（1.7%）で、熊本市近郊市町村での増加が目立っている。一方、最も減少率が高いのは五木村（▲3.8%）、次いで球磨村（▲2.5%）、山都町（▲2.3%）である。

(表2)人口増減数及び増減率の上位5市町村(平成18年10月～平成19年9月)

順位	人口(人)	人口増減数(人)			人口増減率(%)		
		増加	減少		増加	減少	
1	熊本市 670,179	菊陽町 1,103	天草市 ▲ 1,740	菊陽町 3.3	五木村 ▲ 3.8		
2	八代市 134,680	合志市 662	八代市 ▲ 1,095	西原村 1.7	球磨村 ▲ 2.5		
3	天草市 93,255	大津町 328	上天草市 ▲ 634	嘉島町 1.7	山都町 ▲ 2.3		
4	玉名市 70,792	嘉島町 143	玉名市 ▲ 631	合志市 1.3	小国町 ▲ 2.1		
5	宇城市 62,767	西原村 109	人吉市 ▲ 594	大津町 1.1	上天草市 ▲ 2.0		

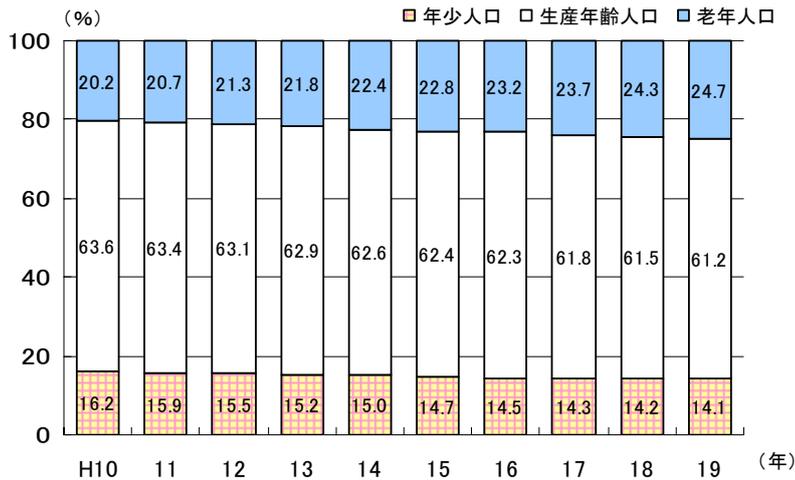
4 年齢別人口 — 県民4人に1人が65歳以上

年少人口(0～14歳)	257,789人	(県全体に占める割合 14.1%)
生産年齢人口(15～64歳)	1,118,788人	(県全体に占める割合 61.2%)
老年人口(65歳以上)	451,711人	(県全体に占める割合 24.7%)

年少人口は257,789人で前年より3,158人の減少、生産年齢人口は1,118,788人で10,847人の減少、老年人口は451,711人で6,384人の増加となり、県全体に占める割合は、前年に比べ、年少人口は0.1ポイント低下、生産年齢人口は0.3ポイント低下、老年人口は0.4ポイント上昇となった。

老年人口の県全体に占める割合は過去最高の24.7%となった。

(図3) 年齢3区分別人口割合の推移(平成10年～平成19年)



(表3) 年齢3区分別人口の推移(平成10年～平成19年)

年次	年齢3区分別人口(人)		
	年少人口(0～14歳)	生産年齢人口(15～64歳)	老年人口(65歳以上)
H10	302,765	1,186,318	376,690
H11	295,943	1,182,569	386,296
H12	288,654	1,173,790	396,020
H13	283,490	1,170,122	406,140
H14	278,400	1,163,342	416,328
H15	273,343	1,157,999	423,450
H16	269,184	1,153,648	429,303
H17	264,013	1,139,125	437,244
H18	260,947	1,129,635	445,327
H19	257,789	1,118,788	451,711

※H12、17(国勢調査)は年齢不詳を除く

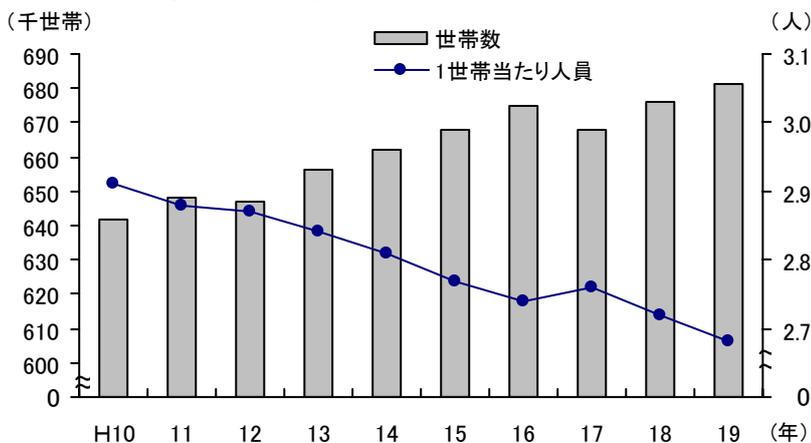
5 世帯 — 1世帯当たり人員は減少

平成19年10月1日現在の世帯数は、681,377世帯で、前年に比べ、5,822世帯増加した(0.86%)。

1世帯当たりの人員は2.68人で、前年に比べ、0.04人減少した。1世帯当たりの人員は、単身世帯の増加、核家族化等により年々減少している。

市町村別に1世帯当たりの人員をみると、最も多いのは富合町3.36人で、最も少ないのは熊本市2.43人で、その差は0.93人である。

(図4) 世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成10年～平成19年)



(表4) 世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成10年～平成19年)

年次	世帯数	1世帯当たり人員(人)
H10	641,983	2.91
H11	648,438	2.88
H12	647,216	2.87
H13	655,633	2.84
H14	662,076	2.81
H15	668,485	2.77
H16	674,815	2.74
H17	667,533	2.76
H18	675,555	2.72
H19	681,377	2.68

(表5) 1世帯当たり人員の上位5市町村

順位	1世帯当たり人員(人)			
	多い		少ない	
1	富合町	3.36	熊本市	2.43
2	相良村	3.29	五木村	2.46
3	山江村	3.28	水俣市	2.51
4	氷川町	3.23	人吉市	2.58
5	錦町	3.16	南阿蘇村	2.63